



アーツカウンシルさいたま

クリエイティブな生活都市をつくる

Arts Council Saitama

アーツカウンシルさいたまは

市民が暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会を増やし
市民生活の多様な場面で創造活動が行われる環境を整備するとともに
文化芸術を通じて将来のさいたま市の姿を考えることを
目的に創設された支援組織です



ビジョン

あらゆる人に、文化芸術を創造・享受する機会を提供し、
心豊かに生活できるまちを創出する

ミッション

- 市民が暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会を増やします
- 文化芸術の新たな創造環境を創出します
- 文化芸術を通じて、将来のさいたま市を考えます

ささえる

あらゆる人が文化芸術に親しむことができるよう、文化芸術を創造するための環境を整え、
専門家による相談や助言、人材育成等を行っています。

主な事業

①文化芸術活動に対する助成事業

市民の文化芸術活動や、さいたま市の文化芸術の振興を図るために文化芸術団体等が
さいたま市内で実施するプログラムに助成金を交付し、適宜相談にも対応しています。

令和5年度採択事業（一部）

第8回岩槻映画祭

申請団体：岩槻映画祭実行委員会



ギターやろうぜ！inさいたま

申請団体：ギターやろうぜ！inさいたま実行委員会



令和6年度採択事業（一部）

秋ヶ瀬フェス

申請団体：秋ヶ瀬フェス実行委員会



Renew our minds 新と心プロジェクト

申請団体：新と心プロジェクト実行委員会



②生活と文化の相談窓口

文化芸術に「触れたい」、「創造したい」と考えている方に、文化芸術を専門とするプログラムディレクター（PD）・プログラムオフィサー（PO）が情報提供やマッチングを行っています。

- 相談者（実績）……市民等の文化芸術活動団体・個人、企業、アーティストなど
- 情報提供例（実績）…アート作品の展示スペース、ギャラリー
アートを媒介した地域コミュニティ活動
講座・演奏会等の会場

[相談方法]

オンラインや対面でのご相談を承っています。

下記二次元コードのフォームもしくはメール、電話にてご相談ください。

また、ご希望の相談方法（オンライン/対面）、日程、内容についてあわせてお知らせください。

相談フォーム▶



③専門家によるレクチャー+出張相談「文化活動のどうしよう？」

文化芸術の活動を始める・続けていくときの課題について、その領域の専門家を招いてスキルアップやノウハウを学ぶレクチャーと出張相談会のシリーズです。出張相談会では、文化芸術活動における個別の相談に応じます。

令和6年度レクチャー+出張相談「文化活動のどうしよう？」（一部）

● 地域メディアへの広報活動編

講師：星野邦敏（大宮経済新聞、浦和経済新聞編集長、
（株）コミュニティコム代表取締役）
大胡由紀（大宮経済新聞、浦和経済新聞副編集長）



つくる

市民が主体の多様な文化事業や、さいたま市の特色ある文化資源を市内外に発信し地域の活性化を目指す事業、アーティストが市内に滞在して地域交流をしながら作品制作をする事業等、文化芸術プログラムを実施します。

● 主な事業

①ところでなにをする？：さいたまアーツコモンズツアー 2024、アート資源調査

国際芸術祭等の取り組みにより創出された地域でのつながりや、市民プロジェクトやサポーターのコミュニティ等を活かしたアートプログラムを実施し、市民が日常的に文化芸術に親しむ環境づくりを進めています。

ところでなにをする？： さいたまアーツコモンズツアー 2024（一部）

第1回 語りと福祉の関係編

第2回 音と自然の関係編

Photo by 浅見俊哉



アート資源調査（一部）

調査先：路地裏 GarageMarket

調査先：GAFU-gallery&space-



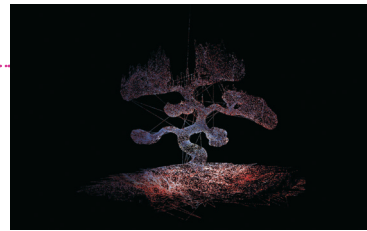
②さいたま文化発信プロジェクト「空想するさいたま」

若手アーティストが、さいたま市の文化芸術資源である「盆栽・漫画・人形・鉄道」から着想し、先端的なメディアやデジタル技術を使ったアート作品を制作します。また、このプロジェクトを市内外に発信することで、さいたま市の新たな魅力を開拓します。

デジタルコンテンツ制作プラン入選者

第1位：徐秋成「夢をみる、さいたま(仮)」

第2位：レオニード・ズヴォリンスキー
「オーディオビジュアル作品“Sleeping Memory”
-盆栽の知覚を通してさいたまの都市の記憶を
人々に伝える-」



デジタルコンテンツキュレーション(展示・発表)プラン入選者

第1位：西山夏海「memories of "life"」

第2位：吉岡雄大「SAITAMA HEARTAIL」



③アーティスト・イン・レジデンスさいたま事業

市内にアーティストが滞在し、創作活動や発表、地域住民との交流などを行う事業です。市民とアーティストとの交流や、創作過程を身近に感じてもらうことで、日常の中で文化芸術に触れ、市民の心豊かな生活につながります。

令和5年度「公募プロデューサー事業」

ヌトミック × 2.5 architects 共同制作
『しらふの地先へ』ワークインプログレス公演
実施者：額田大志(ヌトミック)

Photo by Fumika Morito

ニューサーカス『ボンジュールさいたま』
実施者：上ノ空はなび (to R mansion)



ふかめる

国内外の文化芸術に関する最新の動向や、地域の文化芸術資源に関する情報などについて、調査研究を行っています。

また、全国のアーツカウンシルなどとネットワークを構築し、情報を収集しています。

主な事業

① 研究アソシエイト事業

文化芸術の裾野を広げ、文化芸術に興味を持つ市民などから活動等を担う人材を育成しています。アソシエイト(研究員)は一般公募で決定し、各自テーマを設定した上で調査研究するとともに、外部講師を招いた「公開研究会」などを開催しています。

令和5・6年度 アソシエイト・研究テーマ

…西田祥子:「市民コラボレーター」が作るさいたまアートネットワーク調査プロジェクト

…温盛義隆:まちのアート系スペースの成立とその展開に関する研究

研究アソシエイト「公開研究会」(一部)



#2 講師：高村瑞世
(Token Art Center 代表)



#3 講師：吉田武司
(アートアクセスあだち
音まち千住の縁 ディレクター)



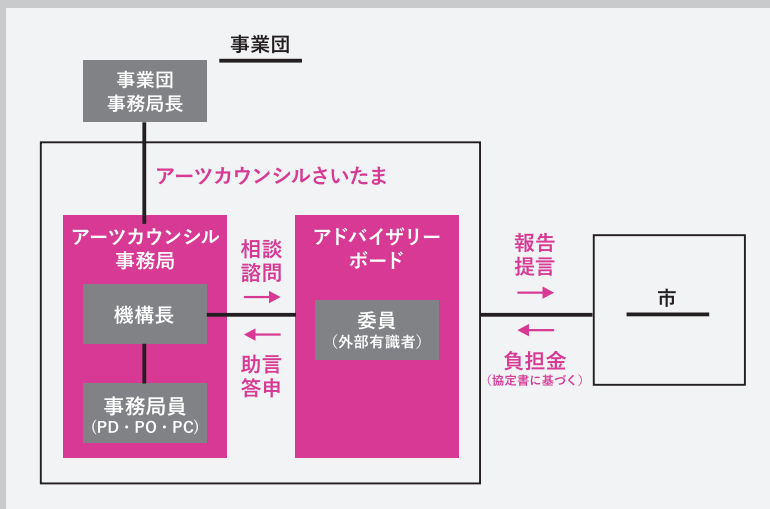
#4 講師：島原万丈
(LIFULL HOME'S 総研 所長)

② 事業報告会

アーツカウンシルさいたまの事業等を通じてつながりを持った団体および個人が一堂に会し、活動を報告するとともに、交流する場として実施しています。



アーツカウンシルさいたまの組織は、アドバイザーボードと事務局で構成されています。アドバイザーボードは、有識者組織として設置し、文化芸術活動の支援に係る、アーツカウンシルの方向性や、市への政策提言に対する助言を行います。



アーツカウンシル事務局は、さいたま市文化振興事業団内に設置し、文化芸術に造詣が深いプログラムディレクター（PD）およびプログラムオフィサー（PO）を中心に、支援方針の具体的な決定など専門性の高い運営を行っています。

プログラムディレクター（PD）

森 隆一郎

芸術文化の現場制作・広報やリサーチなどに携わる。90年代より江東区文化センターやティアラこうとうで企画制作を担当、並行して2002年からアサヒ・アート・フェスティバルに立ち上げから参画。2007年からいわき芸術文化交流館アリオス マーケティングマネージャー、2012年からアーツカウンシル東京 広報調整担当課長。2018年独立（合同会社渚と代表社員）。現在は、東京藝術大学のプロジェクトや銀座ヴィジョン会議、文化 commons 研究所などで多様な活動を進める。全国の公立文化施設での研修等も担当。共著に「文化からの復興 市民と震災と いわきアリオスと」水曜社

アーツカウンシルさいたま（公益財団法人さいたま市文化振興事業団内）

〒336-0024 さいたま市南区根岸 1-7-1 さいたま市文化センター 4 階

TEL 048-767-5350

FAX 048-767-5351

MAIL artscouncil@saitama-culture.jp

（火～土 9:00～17:00、日・月・祝日は休み、月曜日が祝日の場合、火曜日も休み）



WEB サイト



X (旧 Twitter)



Facebook



note



令和 6 年度文化庁
文化芸術創造拠点事業